

新生産業株式会社様には、これまでに当センターから11名ご採用いただき、今も全員が勤務され、機械加工に携わっておられます。加工の職務経験がない方や企業実習を経て採用された方もおられます。今回は、マシニング担当 主任 竹迫 幸生様（CAD・NC機械科技能習熟コース 平成23年12月修了）（右）と マシニング担当 伏見 康次郎様（機械加工技術科短期デュアルシステムコース 平成27年3月修了）（左）のお二人に現在のお仕事等について、また、お二人の上司の工場長 虫明 義則様（中央）に採用や当センターの職業訓練について、お話を伺いました。



\* \* \* \* \*

**毎日違うことができるので、飽きがこない。**

**気が付いたら7年になっていました。**

修了生の竹迫様に、現在のお仕事や就職の経緯などについてお話を伺いました。

◇現在のお仕事は？

- 機械加工職（正社員）として、マシニングセンタを担当し、主任を務めています。プラスチック製品を製造しており、製品は、自動車部品、船舶用部品などさまざまです。

◇前職は？

- 鋳造所で、正社員として金属加工に携わっていました。量産品の加工で、担当していた仕事は、鋳物を削る加工が9割、CAD/CAMが1割でした。

◇就職されて、いかがですか？

- 7年目になります。前職や職業訓練で金属は削ったことがありましたが、樹脂を削るのは初めてでした。就職後、毎日、新しい樹脂、また違う新しい樹脂と、知らない樹脂との出会いの連続でした。扱っている樹脂の種類は、50種類くらいあります。それぞれの樹脂に応じた作り方があり、それを調べるのが楽しかったです。毎日違うことができるので、飽きがこない。そんな毎日で、気が付いたら7年になっていました。

私は凝り性。今作ったものと来年作るものは多分違います。それがこの仕事の醍醐味。そして、作ったものには愛着があると思います。

◇初めての仕事に不安は？

- 一 就職時、不安は少して、好奇心の方が強かったです。職場には先輩（ポリテクセンター修了生）が5～6名おられたので、心強かったです。先輩が面接で「樹脂は削ったことがなくても大丈夫」と声を掛けてもらえて、安心しました。だから、自分も修了生が見学や面接に来たら、「樹脂を削ったことがなくても大丈夫」と伝えていきます。好奇心がある人は、すぐに覚えられます。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- 一 スキルアップをしたかったからです。前職在職時に、今担当している加工だけでなく、他の加工もできるようになりたい、CAD/CAM、3次元、5軸加工をしてみたいと思っていました。

前職で派遣社員の方と話しているときに、その方から「職業訓練でCAD/CAMを学べるコースがある」と聞きました。コースによって入所月が決まっていて、タイミングを逃すと3ヶ月くらい待たなければならなかったので、退職を決意しました。リーマンショックから2年が経ち、どこも仕事が増え、工場は24時間稼働していました。ただただ同じものを同じように加工しているだけの毎日に疑問を感じていました。

◇受講前、ポリテクセンターの印象は？

- 一 ポリテクセンターを知りませんでした。パンフレットを見ると、県内の就職情報も提供されるとあり、仕事をしながらスキルアップするより、時間的に効率よく習得できるから、いい制度だと思いました。前職で機械加工をしていましたが、教科書通り加工できているか疑問に思っていたので、基本を学び直せると思いました。

◇受講していかがでしたか？

- 一 専門的なことでは、読図・製図を習って、今まで自分がやってきたことの良し悪しがわかりました。加工の経験はあっても、職業訓練を受講して得るものがありました。

受講して、貴重な仲間ができました。受講したコースには40名くらいの受講者がいました。年齢層はさまざまですが、よく話をしてきた人たちとは、今も付き合いが続いています。仕事の話をしたり相談するなど、いろいろ教えてもらったりしています。

それと、ものづくりに対する視野が広がりました。以前は社内のことだけを考えて仕事をしていましたが、今は、A社はこんなことをしている、B社はこんな状況だとか、県内のものづくり企業のことを知るようになりました。

◇講師は？

- 講師に知りたいことを質問すると、その場でわからないことがあったときは、「次までに調べてくる」と言って、対応してくれました。修了のとき、先生から「転勤があるから、私は10年後ここにはいないけれど、どこかで会えたらいいと思う。」と言われ、10年後に会ってお礼が言いたいと思っていました。4年早いけれど、お礼を伝える機会があって良かったです。

◇職業訓練で習得したスキルは？

- 読図、製図、加工の基本です。それと、視野が広がったことです。

◇今のお仕事で役立っていることは？

- CAMオペレータとやりとりができるようになりました。CAMのプログラムを受け取ったときに、図面やCAMの知識があるので、CAMのオペレータに要望が言えるようになりました。以前は、受け取ったプログラムどおり加工していました。加工職であっても、図面やCAMの知識は無駄になりません。

同じ年齢で2年先輩の方がいるのですが、CAMのプログラム作成が速く、すごい先輩です。速く、いいものをつくりたいという同じ思いを持つ先輩だから、お互いの知識・技術を出し合って仕事をしています。

汎用旋盤が使えることも役立っています。技能検定の汎用旋盤2級課題を職業訓練で取り組んだことが生きています。入社すると、多くの事業所ではNC旋盤かMCかをずっと担当するので、10年加工をしても汎用旋盤が全くできないということになります。たいていどの工場にも汎用旋盤が1、2台あって、少量の加工の際に使ったりします。職業訓練で汎用旋盤を使って加工した経験があるので、汎用旋盤の担当に頼まなくても、ある程度自分で加工できます。

◇就職活動は？

- 毎日ハローワークの求人をチェックしていました。ハローワークで開催される企業説明会にも参加し、採用面接も受けました。

◇就職決定の決め手は？

- 修了3、4ヶ月前になり、応募した大手は不採用という状況でした。先生が「いい会社がある。」と、見学希望者を募られ、参加しました。見学に行って、目から鱗が落ちました。その日に、ここに就職しようと決めました。

私の工場のイメージは、「暗い、汚い、作業服も油で汚れている」でした。ここは、「照明で明るく、通路も線が引いてあってきれい、作業服もきれい。」で驚きました。削っているものがカラフルで、くずも、切りくず、糸くずといろいろあり、それぞれの

従業員が別々のものをつくっていて、興味を持ちました。できるかなという不安より、やってみたいという気持ちが強かったです。たまたまだと思うのですが、会社



見学の前に訓練で樹脂を削って、大失敗しました。金属と違いやわらかいから思いっきり削っていいと思って削りましたが、アクリルは切削条件が違っていました。そのときの失敗を引きずって、リベンジしてやるという気持ちもありました。見学して、いちから勉強したらおもしろいのではないかと思いました。

◇今後の目標は？

- いい会社にしたいと思っています。いいものを作って社会に貢献するだけでなく、元気ある会社にしたいです。そのため、5Sなど環境づくりにも取り組んでいます。見学に来られる方に、目から鱗が落ちるとしてもらえ、そんな会社にしたいです。修了生が見学や面接に来たら、目に留まる会社にしたい。



◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- 好きこそものの上手なれ。好きならやってみて欲しい。好きだから続けられます。ものづくりは、10年やっても飽きがない。好奇心があるから、続けていけます。ものづくりが好きな人は是非この業界に来て欲しい。がっかりさせない業種です。

\* \* \* \* \*

**企業実習で実際に仕事を体験し、**

**安心して働ける事業所であることを確信しました。**

修了生の伏見様に現在のお仕事や就職の経緯についてお話を伺いました。伏見様は、企業実習付きのコースを受講され、企業実習先に就職されました。

◇現在のお仕事は？

- 機械加工職（正社員）として、マシニングセンタを担当し、樹脂製の部品をつくったり、CAMソフトを使ってプログラムの生成を行っています。

◇前職は？

- 産業用機械装置を製造する事業所で、アルバイトをしていました。機械装置の部分組立品を製造していました。

◇就職されて、いかがですか？

- － 勤務開始から3年半が経過しています。少しずつ仕事を覚え、現在は加工を任せてもらっています。図面と材料を受け取った後の仕事は、自分の判断で進めています。

◇職業訓練を受講しようと思われたのは？

- － 製造業で非正規雇用で就労していたのですが、不安定なので、製造業の正社員になりたかったからです。単純作業をしていたので、他の製造現場で役立つ知識を得たかったし、就職支援があることも決め手になりました。

◇受講していかがでしたか？

- － 人数が多いので、機械を操作する時間が充分ではないと感じました。私にとっては、訓練内容がもっと詰め込まれている方がよかったです。

◇職業訓練で習得したスキルは？

- － 機械製図規格、工作機械の操作、切削工具や切削条件の考え方、NCプログラムの基本です。機械製図規格とNCプログラムの基本が、今の仕事に役立っています。

◇当センターの就職支援は、いかがでしたか？

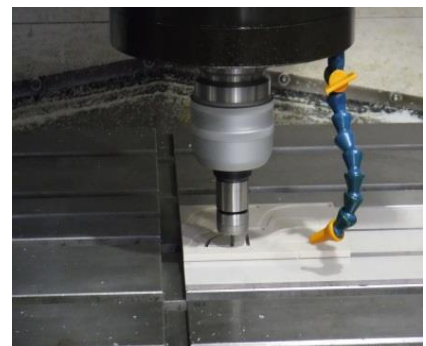
- － 応募書類の作成や企業実習先の情報提供が役に立ちました。

◇就職決定の決め手は？

- － こちらで企業実習を1ヶ月間受けました。現場で実際に仕事を体験し、安心して働ける事業所であることを確信しました。

◇今後の目標は？

- － 技能の向上です。1台のマシニングセンタを自分専用で担当しているので、マシニングセンタの技能を向上させたいです。  
多能工も目指しているなので、他の機械の操作も積極的に覚えていきたいです。



◇就職活動中の方や職業訓練を受講されている方にメッセージをお願いします。

- － 日々の訓練に前向きに取り組んでいれば、やりがいのある仕事に巡り合えます。

\* \* \* \* \*

**IQよりEQ。コミュニケーションがとれる、これが第一。**



## 企業実習に来ていただくのが一番いい。

工場長の虫明様に、当センターの修了生や職業訓練、今後の採用についてお話を伺いました。

◇採用の決め手は？

- 採用にあたっては、コミュニケーションが取れることを重視しています。コミュニケーションを取れると、自分からまわりに聞くことができ、成長が早い。伏見さんは、企業実習で来ていたときに、はきはきしている、てきぱき行動する、たずねたことにすぐ答えて反応がよいという印象を持ちました。

◇伏見さんは、御社が求めている人材？

- はい。伸びしろがあるので、戦力となる人材です。将来の担い手として期待できる人材を確保できたと思っています。採用してよかったです。今後も、ポリテクセンターから採用したいと考えています。

◇これまでに当センターの修了生をたくさん採用いただいていますか、いかがですか？

- 30名のうち11名が修了生で、入社して10年になる者もおります。未経験者より鉄工所で勤務した経験がある人の方が、呑み込みが早いです。しかし、長い目で見ると、ポリテクセンターの修了生は、指示されたことを素直に受け入れて加工しているので、成長が期待できます。仕事に対する姿勢は前向きで、意欲があります。

◇お二人に期待されていることは？

- 今後は、自分で責任を持って、自立心を持って欲しいです。指示されたことを素直に聞くばかりではなく、自分で考えて提案して欲しい。伺いをたてるときのEQ力（※）をさらに身に付けて、コミュニケーションをとって、いずれは指示・提案する立場になって欲しい。

※EQとは

《emotional quotient》情動指数。感情指数。実社会の人間関係の中で重要な一種の知性として、米国の心理学者ダニエル＝ゴールマンは、「Emotional Intelligence」（邦訳「EQ・こころの知能指数」）の中で、自分の感情を認識し、自制する能力、他者を共感的に理解する能力などをあげている。

（出典 小学館/デジタル大辞泉）

◇職業訓練のどのような点が仕事に役立っていますか？

- 職業訓練を受講した分、Gコードや基本的な加工方法など、職務に必要な技能・知識は習得しているし、それぞれの仕事に役立っていると思います。

複数の加工方法は知らないが、それは実務経験がないから致し方のないことです。まわりとコミュニケーションが取れるので、入社後も新たな知識や技能を吸収でき、伸びしろがまだまだあります。

◇当センターに期待することやご要望は？

- － 読図と測定ができるようにしておいていただきたい。見学、応募もしていただきたいですが、企業実習に来ていただくのが一番いいです。企業実習に来られると、入社後、職場や仕事になじむのが早かったです。

◇当センターの修了生以外で、未経験で入社された方は？

- － おります。弊社は、入社後、まずは品質管理・出荷の仕事を担当してもらいます。最終工程を経験したあと、機械加工を担当します。加工も、汎用機、ボール盤と順に経験し、将来的にはオールマイティにどの加工機も使える、ひとつひとつに卓越するより、むしろ多能工になるよう育成しています。

◇採用にあたり、重視されていることは？

- － コミュニケーションがとれることです。これが、第一です。他は、何とかあります。だから、IQよりEQです。

◇政府の女性活躍推進の施策に基づいて、当センターには女性求職者を対象とした「CAD・ものづくりサポート科」があります。女性の就業についておたずねします。御社には女性はどのくらいおられますか？

- － 30名中5名が女性です。そのうち、2名が品質管理・出荷を担当しています。2名とも未経験で入社されました。

◇男性と女性で、能力や意欲などに違いはありますか？

- － 特にありません。あえて挙げるなら、腕力くらいです。

◇今後、女性を採用される予定や計画は？

- － あります。加工を希望する女性も歓迎です。

◇ものづくり分野への就職を希望・検討している方にメッセージをお願いします。

- － 既製品ではなく、顧客の要望から新しいものをいちからつくるので、やりがいのある仕事です。それだけに責任が大きい。流れ作業と違い、営業担当も、工場の人と図面を見ながら、相談してものをつくります。だから、オペレータではないけれど、営業担当も勉強しています。責任があるから、やりがいを感じられます。

新生産業株式会社

所在地：岡山県岡山市南区新保 687-7

設立：昭和 54 年 7 月 1 日

資本金：2,400 万円

従業員数：30 名

事業内容：プラスチック製品の精密切削加工販売

(取材後記)

- ◎「飽きが来ない」「すごい先輩がいる」「いい会社にしたい」と語られる竹迫様のお言葉は力強く、そして、お顔はとても輝いていました。10月1日、京都大学高等研究院特別教授本庶佑氏がノーベル生理学・医学賞受賞会見で「好奇心」と語られるのをニュースで拝見し、「好奇心があるから続けていける」と語られた竹迫様のお顔が思い出されました。
- ◎伏見さんはインタビュー中も終始笑顔で、見学の際も細やかな心配りをしてくださいました。工場長の虫明様がお話しくくださったとおりでした。多能工として活躍される伏見さんといつかお会いできることを楽しみにしております。
- ◎工場長の虫明様には工場をご案内いただきました。伏見様がお話されたとおりで、一人1台加工機を任せられ、竹迫様がお話されたとおりで、多種多様な機械で大小さまざまなものが製作されていました。そして、工場は清潔で、整理整頓がされていました。誰もが一目でわかるように、それぞれの機械にメンテナンス状況が表示されていました。事務所でも、工場でも、従業員のみなさまからご挨拶いただき、虫明様がおっしゃるとおりコミュニケーション第一の職場だと感じました。
- ◎今回の取材をご快諾いただきました顧問の三島様が、「従業員 30 名のうち、11 名がポリテクセンターの修了生。誰も退職していない。」と常々おっしゃってくださいます。修了生のみなさまはもちろんですが、従業員のみなさまが笑顔で働いていらっしゃるお姿から、その訳を肌で感じることができました。

<2018 年 9 月>